

辰巳天中殺の人の人間関係

■ 子丑天中殺との要点

- ① 辰巳天中殺は子丑天中殺に好かれる傾向がある。(辰巳天中殺には、もともと面倒見の良いところがあり子丑天中殺にはとくに頼って行きやすいエネルギーがある)
表現を変えれば辰巳天中殺は、子丑天中殺から現実的な方向へ引っ張られて行く傾向がある。
- ② 辰巳天中殺は子丑天中殺が新しい世界へ発展して行こうとする“きっかけ”を作つてやる傾向がある。
子丑天中殺が目下・部下・秘書ならば良い存在。(目下→家庭なら弟・妹、勤め先なら後輩)
- ③ 目上・上司から頼られる存在になるので重荷になる(目上→家庭なら兄・姉、勤め先なら先輩)
- ④ 時期として辰巳天中殺が不運などときとか、何をやってもうまくいかないとき、子丑天中殺を訪ねるか出会うと幸運へ転じるきっかけになってくれる。
反対に、すごく調子の良いときに合うと、そこえ又アクセルを踏み込むような働きを子丑天中殺がしてくれるので暴走をしてしまい、辰巳天中殺がもっている波乱の運が出て来る。(辰巳天中殺にとって子丑天中殺は出会う時期が「いつか」ということが重要になる関係)
- ⑤ 夫婦の場合は、一般に波瀾の多い関係になりやすい傾向がある。

■ 子丑天中殺の人との人間関係

辰巳天中殺にとって、子丑天中殺というのは大変おもしろい働きをする存在です。
この結びつきは「天上」と「北方」の欠落になりますので、バランスの良い関係とはならず、現実的な方向へ引っ張られていく傾向があります。

運の発展という意味で言えば、子丑天中殺は、辰巳天中殺の“アクセル”みたいな役割をしてくれます。
辰巳天中殺が、新しい世界へ前進していくのを応援してくれる人と言つていいでしょう。

しかし、"アクセル"必ずしも全部に良いというわけではありません。
辰巳天中殺にはもともと面倒見の良いところがあります。子丑天中殺には特に頼っていきやすいエネルギーをもっていると言つていいでしょう。そのため、辰巳天中殺は子丑天中殺には好かれる傾向があるのです。
会社の同僚や部下、学校の先輩や仲間の中でも、なにかというと頼つて来て相談したり、用もないのに声をかけてきたりする人の中に、子丑天中殺が多いはずです。

辰巳天中殺は子丑天中殺に好かれもするけれど、また、頼られるところもあるのです。しかし、頼りっぱなしではありません。

子丑天中殺が会社なら部下とか、家庭なら弟……といった目下の関係ですと、辰巳天中殺によく尽くしてくれます。それだけに辰巳天中殺が前進して行く力になるのです。

ところが、子丑天中殺が目上だとします(上司や兄・姉……といった関係)。

その場合でも辰巳天中殺に頼ってきます。目上に頼られてはちょっと重荷になるのは当然です。

子丑天中殺の親なら老後の生活は辰巳天中殺の子供に頼り、寄り掛かってきかねません。

こうした、子丑天中殺に頼られるという形は別として、この相手は、辰巳天中殺が思いきって発展していくとするきっかけを作つたり、そういう時期に助けてくれる立場になりやすいという有難いところがあります。(つまり“アクセル”になってくれるのです。たとえば、辰巳天中殺が不運などときとか、今までうまくいかなかつたが、今度こそやり直そう……というようなときには、子丑天中殺の相手にめぐり逢うと非常に良いのです。幸運へ転じるきっかけになってくれるからです。しかし、反対に、すごく調子のいいときにあうと、そこへ、また、“アクセル”を踏み込むようなものですから暴走してしまう。そうしますと辰巳天中殺がもっている波瀾の運が出て来るところとなり、欲をかきすぎると大失敗もおこしかねません。ですから、辰巳天中殺にとって、子丑天中殺は出会う時期が何時かということが重要になる関係です。)

夫婦の場合は、一般に波瀾の多い関係になりやすい傾向があります。